

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立津東高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○ 変化の大きいこれからの社会で、「自分らしくたくましく『未来を切り拓く力』(対話力・追究力・創造力・発信力)」を育成する学校
		○ 地域の進学校として「向学立志」の精神を大切に、不断の進化と切磋琢磨に努め、地域の期待に応え続ける学校
(2)	育みたい 児童生徒像	○ 学習や学校行事、部活動等に積極的、主体的に取り組み、高い目標を持って自らの良さを磨き、「自分らしくたくましく『未来を切り拓く力』(対話力・追究力・創造力・発信力)」を身につけた生徒 ○ 学ぶことの大切さと喜びを会得し、豊かな人生と社会を築こうとする志を持つ生徒
	ありたい 教職員像	○ 基本的な生活習慣、確固とした基礎学力を土台に、「自分らしくたくましく『未来を切り拓く力』(対話力・追究力・創造力・発信力)」を身につけられるよう、生徒に「本気の伴走」ができる教職員。 ○ 自らを磨くため高い目標を持ち、切磋琢磨に努め、不断に進化し続けようと努力し続ける教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt; できれば国公立大学に進学したいと希望しており、それを実現できるよう、学力を付けられるわかりやすい授業を望んでいる。</p> <p>&lt;保護者&gt; 子どもをできれば国公立大学に進学させたいと希望しており、それを実現するための授業力・進路指導力を期待している。</p> <p>&lt;地域・県民&gt; 地域に貢献でき、学力に見合う豊かな人格と心を持つ生徒の育成、地域社会を担い、社会貢献する生徒の育成を期待している。</p>	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>&lt;保護者・PTA&gt; 確かな学力と進路保障、豊かな情緒や人格形成をして欲しい。</p> <p>&lt;地域&gt; 地域の活性化に寄与し、信頼できる学校となって欲しい。</p> <p>&lt;進学先(大学等)&gt; 明確な目的意識と「基礎学力」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を育て欲しい。</p> <p>&lt;学習塾等学習産業&gt; (中学生対象の学習塾) 高校卒業後の進路状況などの情報提供をして欲しい。 (高校生対象の学習塾) 大学入試に向けた連携をして欲しい。</p>	<p>&lt;保護者・PTA&gt; 家庭での学習環境整備と学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p>&lt;地域&gt; 学校教育活動に理解や協力をして欲しい。</p> <p>&lt;進学先(大学等)&gt; 生徒の進路希望実現のための情報提供をして欲しい。</p> <p>&lt;学習塾等学習産業&gt; (中学生対象の学習塾) 中学生保護者へ本校教育活動の情報提供をして欲しい。 (高校生対象の学習塾) 大学入試関連の情報提供をして欲しい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○ 社会に出たとき答えが一つでないことにどう対応するか。「自分で考える力」を養うことが重要。外部と協働することで教員にとっても発見があるのではないかな。</p> <p>○ 地域を含めた外部の大人との関わりは大切。話を聞くだけでなく、コミュニケーションを取る機会をしっかりと作ってほしい。</p> <p>○ 校是「向学立志」を常に先生方が意識していることが大切。</p> <p>○ 探究活動をもっと発信した方がよい。</p>	



	<p>・保護者対象進路説明会の実施 各学年1回以上</p> <p>○ 基本的な生活習慣を確立させ、提出物の期限と時間を守る事の大切さを理解させ、行動が徹底できるよう指導する。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>・全職員による登校指導 毎日実施</p> <p>・生徒会役員による挨拶運動 週2回実施</p> <p>○ 自分たちでより良い学習環境を作ることの理解の上に、掃除を徹底するよう指導する。</p> <p>○ 生徒会主体の学校行事づくり</p> <p>生徒会をリーダーとして、できるだけ生徒主体で学校行事を作るよう努力する。特に、with コロナに移行する中、どうしたら安心安全で充実した学校行事を実施できるか、生徒と教員がともに考え、創り出すよう努力する。</p> <p>○ いじめや差別を許さず、一人ひとりの個性の違いを認め、互いに尊重することができる仲間づくりを進めるとともに、望ましい集団や社会の実現に向けて行動しようとする意欲を育む。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>・各学年 HRでの人権学習年間2回以上実施</p>	<p><b>【登校指導】</b> 全職員による登校指導に月1回PTAも参加して実施している。</p> <p><b>【挨拶運動】</b> 生徒会役員による挨拶運動年間8回実施。</p> <p>体育祭において、生徒会執行部が中心となって、生徒主体でスマホのルールを決めて使用することになった。文化祭は、4年ぶりに完全公開で実施、生徒の主体性を高めるよう努めた。</p> <p><b>【人権学習】</b> 6月20日(火) 11月14日(火)21日(火)</p> <p><b>【人権講演会】</b> 11月16日(木)</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
<p>学習指導の充実</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、アクティブラーニング型授業を組織的に推進する。主体的・対話的で深い学びを実現するツールとして、ICTを有効活用する。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>・教員研修 年間3回実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>・授業アンケートの満足度 80%以上</p> <p>○ 生徒の学習時間を把握し、学習習慣の定着・向上を図る。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>・家庭学習時間 平日120分、休日180分</p> <p>○ 新学習指導要領下による最初の入試である令和7年度入試に向けて、引き続き情報収集し、教育課程及び指導計画の検討を続ける。</p>	<p><b>【教員研修】</b> 10月27日(金)「主体的・対話的で深い学びの実現のために」ノートルダム女性清心女子大学・三浦隆志講師 11月15日(水)「授業×探究×カリマネで見えない力を養い進路実現へ」西大和学園中学高等学校・梨子田喬教諭 11月8日(金)指導主事訪問「授業改善について」</p> <p><b>【授業アンケート】</b> 満足度 1年 83.4% 2年 77.6% 3年 82.4%</p> <p><b>【家庭学習時間】</b> 平日 1年 90分 2年 86.22分 3年 144分 休日 1年 120分 2年 139.7分 3年 270分</p>	<p>◎※</p> <p>※</p>
<p>進路希望の実現</p>	<p>○ 生徒に様々な機会・方法で進路情報を提供し、視野を広げるとともに進路意識の向上を図り、志を実現するため高い目標を持って最後まで最大限努力する姿勢を育む。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>・共通テスト出願者 90%以上</p> <p>・国公立出願者数 160名</p> <p>○ 個人面談を充実させ、進路希望や学習状況などを正確に把握し、的確かつ継続的な指導を行う。</p> <p><b>【活動指標】</b></p>	<p><b>【共通テスト出願】</b> 出願率93.3% 国公立大学出願数 推薦31、前期80、 中期3、後期26</p> <p><b>【個人面談】</b> 1年 3回 2年 3回 3年 3～5回</p>	<p>◎</p> <p>※</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談 年間 1・2年生 3回以上、3年生5回以上実施</li> <li>○ 奨学金制度の紹介や手続きを行い、経済的な面から生徒の進路希望の実現を支える。</li> </ul>		
安心安全な学校作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールカウンセラーをはじめとする外部機関との連携を密にし、生徒の心身の適切なケアを充実させる。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談係との連携 年間20回以上</li> <li>○ ICTを活用した家庭との連携を強化し、情報提供等の活用を促進する。</li> </ul>	<p>【教育相談】</p> <p>カウンセラー来校34日          カウンセリング実施回数          生徒 22名、のべ71回          保護者13名、のべ25回</p>	◎

### 改善課題

探究活動「自分らしくプロジェクト」を2年生まで広げ、外部メンターや大学生サポーター等の「本気の大人」との関わりが広がり、生徒が心から興味あるマイテーマを楽しく考えられるようになってきた。そこで育った主体性が文化祭や修学旅行での姿につながっていると捉えている。また2年生の発表会に1年生が参加したことで、1年生の取り組む姿は昨年以上に積極的である。今後は授業においても今以上に探究的な学びを推進する必要がある。今年度は授業改善をテーマに2回の研修会を持ち、改善に努めたが、次年度はアクティブラーニングの考え方、スキルを組織的に一層高めることが課題である。安心安全な学校づくりについては、校内の「いじめ防止委員会」に、いじめアドバイザーとして弁護士、臨床心理士を招聘し、様々な事象に対しての適切な対応や生徒支援に関する助言をいただきながら組織的に取り組むことができた。今後も引き続き職員個々のスキルアップを図り、安心安全な学校づくりを組織的に推進していく必要がある。

## (2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
 また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
「自分らしくたくましく『未来を切り拓く力』の育成と学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組織力の向上のため、学年、分掌、教科の縦横の連携を一層強化する。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路懇談会(学年と進路指導部の連携会議)の実施 年間 1・2年 5回以上、3年 10回以上</li> <li>○ 学校ビジョン委員会を定期的開催し、生徒に付きたい力やスクールポリシーを含む学校のビジョンを検討し、形にする。</li> <li>○ 学力向上推進委員会を定期的開催し、生徒の学力向上と教員の授業力向上のための方策を議論する。それをベースとして、探究活動の充実を含めた3年間のキャリア教育計画(進路指導の流れ)を構築する。</li> <li>○ 教員の指導力向上に向け、入試研究会・教科研修会に積極的に参加する。</li> </ul>	<p>【進路懇談会】</p> <p>1年:9回          2年:8回          3年:21回</p> <p>ビジョン委員会と学力向上推進委員会で議論を重ね、3年間を見通した、津東高校の進路ストーリーである「生徒育成指針」を作成した。</p> <p>入試研究会や教科指導の研修会に多くの教員が参加した。</p>	◎※
「社会に開かれた教育課程」の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「社会に開かれた教育課程」を実現し、生徒が「答えが一つでない問い」を考えるため、「本気の大人」の「本気の伴走」ができる体制の構築を進める。外部との連携を強化し、組織としてのコーディネート力を強化する。</li> </ul>	<p>「自分らしくプロジェクト」を2年生まで広げるにあたって、年度当初から担当者を明確に位置付けた。また、外部メンターの中で、リーダーと副リーダーを決め、コーディネートをお願い</p>	◎※

	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ビジョン委員会または学力向上推進委員会での議論 年間10回以上</li> </ul> <p>○ 学校関係者評価委員会やPTA役員会で、本校教育への意見をいただくとともに、協働に向けて努力する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価委員会 年間3回実施</li> </ul> <p>○ HPや報道等での情報発信</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP更新 月1回以上</li> </ul>	<p>いした。</p> <p>【学校ビジョン委員会】 6回実施</p> <p>【学力向上推進委員会】 4回実施(予定含む)</p> <p>【学校関係者評価委員会】 年会2回+授業公開1回</p> <p>【HP更新】 年間53回更新</p>	<p>※</p> <p>※</p>
働きやすい職場づくり	<p>○ チームとして仕事をする体制づくりを進め、業務の効率化を図る。</p> <p>○ 校内体制を見直し、業務の効率化と持続可能性を高める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日を月1回設定し、設定した日の定時に退校できた職員の割合80%以上。</li> <li>・部活動休養日を週1回設定し、予定どおり休養日を実施できた部活動の割合100%。</li> <li>・放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合70%以上。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年360時間を超える時間外労働者数0人</li> <li>・月45時間を超える時間外労働者の延べ数0人</li> <li>・一人あたりの月平均時間外労働30時間以下</li> <li>・一人あたりの年間休暇取得日数20日以上</li> </ul>	<p>【定時退校日】 定時退校日月1回設定 設定した日の定時に退校できた職員の割合78.1%</p> <p>【部活動休養日】 週1回実施できた部活動の割合98.3%</p> <p>【会議】 放課後開催で60分以内に終了する会議の割合60.0%</p> <p>【時間外労働】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間360時間超 21名</li> <li>・月45時間超 延べ161人</li> <li>・一人あたりの月平均29.7時間</li> </ul> <p>【休暇】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人あたりの年間取得日数16.1日</li> </ul>	<p>◎※</p>

### 改善課題

「自分らしくたくましく『未来を切り拓く力』(対話力・追究力・創造力・発信力)」を育成するという目指す学校像の実現に向けて、学校ビジョン委員会で議論を重ね、津東高校の進路ストーリーである「生徒育成指針」を作成することができた。今後は教科指導・ホームルーム活動・特別活動等様々な場面において、具体的に落とし込み、一層ベクトルを合わせていく必要がある。また、働きやすい職場づくりについては、コロナ禍の状況が変化したこともあり、時間外勤務時間が増加しており、引き続き改善の余地がある。組織的な業務の進め方、チームとしての業務の進め方を一層推進する等、工夫して働きやすい職場づくりを進める必要がある。

## 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<p>○ 探究活動で一人ひとりの生徒が自分のやりたいことをやっているのがよい。自ら行動することが「当たり前」になることで、社会が明るくなり良くなっていく。「自分で動いて良いんだ」というメンタルづくりが大切。</p> <p>○ 2年目にして深まった探究活動をどのように継続していくかが大切。PTAとしても援助していきたい。</p> <p>○ 「細かい糸の手繰り方」が苦手な若い人が多い。探究を通じて教員以外の大人と関わることで「手繰る力」を培うことができるのは意義がある。</p> <p>○ 3年生での探究活動がどうなるのかが気になるところ。</p> <p>○ 探究テーマをなかなか見つけられない生徒をどうバックアップするのが大切。</p>
---------------------	---

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・2年間継続してきた探究活動「自分らしくプロジェクト」で、3年次以降に「自走」し始めた生徒に伴走するために、組織的な仕組みを整備する。</li><li>・総合型選抜や学校推薦型選抜の指導も大切に、「探究活動」と『主体的対話的で深い学び』を実現する授業」と三位一体で強化していく。</li><li>・津東高校版進路ストーリーである『育成指針』から、各学年や授業、学校行事等の指導に肉付けして、指導していく。</li></ul>
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・探究活動を外部と連携していく体制を維持する仕組みを点検し、見直しと改善を進めていく。</li><li>・令和5年度の授業改善に続けて、総合型選抜や学校推薦型選抜、後期選抜の指導、具体的には志望理由書や面接指導の教職員の研修を充実させる。</li><li>・委員会体制を精査し、効果的な運用に努める。必要に応じて統合や廃止を行いスリム化する。</li><li>・業務の効率化に努め、超過勤務の削減と休暇の取得促進に努める。</li></ul>